

事業報告

(2021年4月1日～2022年3月31日)

I. 施設の企画・運営・管理事業（静岡市女性会館指定管理事業）

2021年度も新型コロナウイルスの感染拡大は収まらず、主催事業及び貸室の利用等に制限が生じた期間もあり、会館の運営にも影響を及ぼしたが、予定した事業はすべて実施し、貸室の利用率も利用者数も少しずつ回復した。

第3期指定管理期間の最後の1年として、女性会館の設置目的である「女性を取り巻く諸問題の解決」を念頭に、さまざまな立場の女性を意識した事業運営に取り組んだ。

男女共同参画推進事業

事業名	内容	実績
講座企画運営事業	21ジャンル45回の講座を実施。	参加者 延べ1,254人 (新規利用者225人 満足度97.5%)
相談事業	女性のための総合相談 ②女性のための就職・転職・キャリア相談 ③性的少数者の電話相談	①1,922件 ②40件 ③35件
情報収集・発信事業	①図書コーナー運営 ②HP ③情報誌等発行 ほか	①延べ4,700人 貸出冊数16,396点 ②延べ47,255人 ③延べ9,800部
Jo-Shizu 人材活用事業	メンタリング カレッジ修生やメンターとの交流事業 他機関への紹介・コーディネート	4件 延べ32人 11人
団体活動支援事業	①男女共同参画団体の活動支援 ②当事者グループ支援	①男女共同参画団体 55団体 ②当事者団体 1団体
その他事業	利用者（講座受講者）アンケート 市民アンケート（静岡市実施） 職場体験・インターンシップ	①回答者 延べ584人 ②回答者 972人 ③中学生2人、大学生3人

施設管理運営事業

	開館日数	利用件(区分)数	利用者数	利用率
2021年度	333日	6,145件	50,182人	41.0%
(参考) 2020年度	334日	4,954件	38,693人	38.9%
(参考) 2019年度	333日	7,684件	85,132人	51.1%

組織運営

事業名	回数	参加延べ人数
外部研修	24回	77人
内部研修（スーパービジョンは除く）	7回	71人

(前年度の課題に対して)

■コロナ禍で例年に比べて定員を減らして開催したため、新規利用者の目標値は達成できなかった。次年度の協定の目標値の見直しを市と協議する必要がある。

☞ 2021年度も感染防止のため、講座の小規模開催はやむを得ず、新規利用者の目標値は達成できなかった。第4期指定管理事業の目標設定について、市と協議したところ、次期は講座のみではなく、相談や図書コーナーを含めた新規利用者数が協定の目標値となった。

■オンライン講座に参加できない人やオンライン講座では受講者同士や講師とのコミュニケーションが取りづらく、満足度も十分得られなかったため、従来と違う運営が求められる。

☞ 対象者によって、オンライン講座で実施可能なもの、講師のみオンラインで受講者は会場に集合するもの、県内の講師でスペースを十分確保して対面で行うものの3パターンの講座運営を行った。また、

Zoom を利用したオンライン講座の利用者層を把握するため、年間共通のアンケートも実施した。

■相談件数が増加傾向にあり、相談員の育成や発掘に努める必要がある。

- ☞ 相談員の育成を事業化しようと、計画を立てたが、実現に至らなかったため、2022 年度に事業化して行うこととする。

(成果)

- ・実施時期の変更を余儀なくされた事業もあったが、感染防止対策を取りながらの事業運営にも慣れ、計画した事業はすべて実施し、貸室を利用休止することもなく、サービスを提供できた。
- ・講座受講者の満足度は 97.2%、図書の貸出数は 16,396 冊と協定の数値目標を上回った。
- ・相談事業を補完するために相談の同行支援が可能になり、相談者・相談員ともその効果を実感できた。
- ・3 期 15 年の実績と新たな工夫を加えた事業提案により、第 4 期指定管理者に指定された。

(課題)

- ・コロナ下の影響は当面続くと予測されるため、引き続き感染防止に配慮した事業運営を行う必要がある。
- ・閉館して 30 年が経過し、施設の設備や備品の劣化が進み、修繕不可能なものが増えてきている。
- ・電気代やガス代の高騰により、今期立てた予算内で収まるか不安。
- ・例年になく新たに採用した職員が多いため、伝えたいことを徐々にマニュアル化する必要がある。

II. 男女共同参画社会を形成するための講座・研修事業

1. メンターカフェ企画運営等業務「女子きらっ☆メンターカフェ 2021」（静岡市男女共同参画課より受託）

回	日時	タイトル	場所	参加人数	担当
1	11/9 13:00~14:30	私が働く理由 ～本音で語るワーク×ライフ～	オンライン (Zoom)	27 人	井藤 岡村 松永
2	1/27 10:00~11:30	育休復帰！私が働く理由	aowarau (葵区)	9 人	
3	2/11 13:15~15:15	人生に役立つ転び方や乗り越え方 失敗を最高のものにするヒント	女性会館 (葵区)	22 人	

2. 働き方セミナー事業（掛川市企画政策課より受託）

回	日時	タイトル	講師	参加人数	担当
1	3/2 9:45~11:45	子育てママのための そだてる はたら く 私らしく	萩原美栄子	5 人	井藤

(成果)

- ・静岡市男女共同参画課から受託したメンターカフェは、静岡県立大学の犬塚ゼミの協力を得ることができ、若い世代に向けて実施することができた。
- ・昨年度同様、掛川市から働き方セミナーも受託できたため、静岡市外でも講座を実施できた。

(課題)

- ・3 回目のメンターカフェは、新型コロナウイルスの感染拡大により、講師がオンライン (Zoom) での登壇になっただけでなく、講座前日には依頼していたメンター 1 人と司会者が体調不良になり、当日登壇できなかった。急遽、司会進行をスタッフが行うなどして対応したものの、当日の対応や確認が増えてしまった。
- ・掛川市からの受託事業は、募集期間にコロナウイルス感染拡大が重なったため、定員に満たなかった。また、受託決定が遅れ、十分な広報期間が取れなかった。

Ⅲ. 男女共同参画社会を形成するための情報の収集・発信・交流事業

1. 情報収集・発信事業

事業名	実施	内 容	実績	担当
「もしものための情報ガイド@しずおか」リニューアル	未実施	HP 上に掲載している女性の仕事、健康、暮らしを支える静岡の福祉制度や税の減免、各種相談先等を確認し直し、最新の情報が提供できるようにする。	—	川村 松下
NPO 法人フードバンクふじのくに連携事業	4 月～2 月 毎週金曜日	寄付された食糧の仕分けや生活困窮者への発想準備のボランティアを通じて、得られた情報を事業に活かす。	活動 49 日	川村 高野 松下
静岡版ジェンダー統計作成検討会（仮）	未実施	静岡の女性が置かれた状況を客観的に知ることのできるデータ作成を 22 年度実施に向けて検討する。	—	居城 他

2. 交流事業

事業名	実施日	内 容	参加者
全国女性会館協議会 第 65 回全国大会（秋田市）	11/5～6	Zoom 視聴 基調講演、情報交換会、分科会等	谷口 松下 他

3. 共催事業

事業名	実施日	内 容	連携・共催団体	実績	担当
定時制高校 アウトリーチ事業	5/26 6/25・30 7/14・16・21 9/15・24 10/27 11/10・26 12/8・15 1/12 2/18	3 団体で共催し、中央高校、静岡東高校、静岡高校定時制等食料支援を中心に、高校生の生活をサポートする。	NPO 法人 POPOLO NPO 法人しずおか共育ネット	19 回実施	井藤 川村 谷口 松下

(成果)

- ・「NPO 法人フードバンクふじのくに連携事業」では、毎週、理事 3 人が交替でボランティアとして参加し、2021 年度の活動日数は 49 日。活動する中で得られた情報を居場所事業「ふらり」等の事業に活かすことができた。
- ・交流事業の「全国女性会館協議会第 65 回全国大会」（秋田市）は 2021 年度も Zoom での開催になった。Zoom ため、多くの職員が視聴でき、秋田県のセンター事業や地域特性を知ることができた。
- ・今年度から NPO 法人 POPOLO、NPO 法人しずおか共育ネットの 3 団体で共催した「定時制高校アウトリーチ事業」は食料支援を通して高校生の声を聞くことができた。3 校に合計 19 回食料配布会を実施。当団体は生理用品を述べ 250 人に届けるとともに居場所事業「ふらり」や各種相談の情報を高校生に伝えることができた。

(課題)

- ・「もしものための情報ガイド@しずおか」は、女性会館の HP に情報の一覧が掲載されているが、コロナ禍ではあっても前年度に比べ緊急性が薄れた。職員も忙しくしており、情報の更新（リニューアル）を依頼できず、未実施となった。
- ・以前から懸案となっている情報収集・発信事業の「静岡版ジェンダー統計」については、準備委員会を設けて方法等の検討をする予定であったが、2020 年の国勢調査の結果がまだ出そろっていないこともあり、未実施となった。

- ・第4期の指定管理のプロポーザルに臨むため、会館運営に携わる複数の理事がその準備に注力した1年であった。こうした節目の年度は、計画倒れに終わらないように自主事業を絞り込むこともマネジメントとして必要だった。

IV. 男女共同参画社会を形成するための相談・サポート事業

事業名	実施	内容	実績	受託先
女性相談プラットフォーム構築事業	4～3月 3月は居場所事業のみ自主開催	同行支援 居場所事業(年12回)	対象：女性 同行支援 延べ17件 居場所 延べ101人	静岡市 男女共同参画課

(成果)

- ・内閣府の地域女性活躍推進交付金を活用した上記事業を静岡市から受託し、新規事業として「女性相談プラットフォーム構築事業」を開始。女性会館相談室の機能を補完する仕組みとして、様々な課題・困難を抱える女性への同行支援や居場所事業を行うことができた。同行支援は17件実施し、弁護士相談の同行が主であったが、相談員が同行することによって、相談者の理解が進み、その後の支援がしやすくなった。
- ・居場所事業「ふらり」は、毎回新規来場者が数人おり、リピート率69.3%と定着してきた。来年度も静岡市の「女性相談プラットフォーム運営事業(居場所兼サポート窓口)」として予算化されており、引き続き実施する。

(課題)

- ・同行支援は相談者が自ら考え行動する力を奪うことなくサポートすることが大事であり、同行支援をした方がよいかどうかの見極めが難しいケースもある。
- ・居場所事業は様々な年代の人に参加してもらえたが、アウトリーチ事業で広報をしても、高校生世代の利用はなかった。

事業名	実施	内容	協力先	実績	サポート
サンタリードライブ	通年	居場所事業「ふらり」(毎月第4土曜日開催)やアウトリーチ事業などで生理用品を無償配布。	—	居場所 46人 アウトリーチ 250人	谷口 他
食料支援連携事業	7/4 10/31 12/26 3/27	食料支援を入りに困難を抱えているシングルマザーの実態を把握し、相談があれば連携先ともに対応する。	NPO法人 POPOLO シングルペア レント101	配布数 419世帯	川村 月川 松下
修了生支援 (地域デザインカレッジ) 勉強会「コロナ禍の静岡の挑戦、そしてこれから」開催	4/20 ～ 3/29	Zoomでの勉強会、打ち合わせを重ね、3月6日にはハイブリット方式で勉強会「コロナ禍の静岡の挑戦、そしてこれから」を開催。社会的課題解決に取り組む修了生等の活動報告と近況報告&交流会を行った。	NPO法人 ESUNE 静岡市人材養成塾修了生有志実行委員会	3/6 勉強会参加者 32人	松下
団体支援 (静岡学習支援ネットワーク)	随時	静岡学習支援ネットワークを引き続きサポート。当団体が持つさまざまな支援の情報を大学生及び保護者、中・高校生に提供すると同時に、随時、大学生の相談にも応じる。	—	—	谷口 松下
シングルマザーサポート団体 全国協議会活動発表会	7/18	ひとり親支援団体の全国大会が静岡市女性会館で開催され、「シングルペアレント101」から依頼があり、活動発表会をサポートした。	シングルマザーサポート団体 全国協議会	—	松下 山野 他

(成果)

- ・シングルペアレント 101 の要請に応じて協力した「食料支援連携事業」では単親家庭の実態の一部を把握することができた。また、静岡学習支援ネットワークの学生にも有償ボランティアとして参加を呼び掛けたところ、5人の大学生が参加した。学生は他の支援団体や支援者から支援の在り方を学び、自身の活動に活かすことができた。
- ・地域デザインカレッジ修了生支援は、修了生が設立した法人、任意団体、地縁団体等が自立して活動し、地域で実績を作りつつある。事業の共催、協力要請の他、事業企画や講師、コメンテーターの依頼等もあり、良い協働先になりつつある。
- ・協力を要請されたシングルマザーサポート団体全国協議会活動発表会では、静岡での取り組みの事例報告も依頼され、当団体のシングルマザー支援の取り組みやNPO法人POPOLO、シングルペアレント101との連携を紹介することができた。

(課題)

- ・団体支援を行っている静岡学習支援ネットワークは、大学生の団体で学生代表や事務局メンバーが毎年度変わるため、会館利用の規則の周知、事業の紹介などを当団体からも積極的に伝えていく必要がある。職員と学生の顔の見える関係づくりを心掛けたい。

V. その他

業務に差し支えない範囲で、理事や職員が講師等の依頼を受けた事業は以下のとおり。

月日	事業名	依頼元	担当
4/17	2020年度 市民公益活動事業費補助金報告会	焼津市	川村
5/28	静岡東高等学校 SDGs ゴール別講義	NPO 法人しずおか共有ネット	山野
6/16	県立城北高校	NPO 法人しずおか共有ネット	山野
6/26	2021年度 市民公益活動事業費補助金審査会	焼津市	川村
8/3, 10, 25	あすばる 男女共同参画担当職員研修	福岡県男女共同参画センター	松下
8/7	男女共同参画センターのあり方を考えるシンポジウム	山梨県センター「集約」問題連絡会	松下
9/10	男女共同参画行政職員研修	長野県男女共同参画センター	松下
10/18	フィールドワーク調査	大正大学	松下
11/10	静岡の市民活動	静岡県立大学地域・産学連携推進室	松下
11/25	志太三市自治会連合会研修会	焼津市	川村
12/12	静岡市キャリア形成事業成果報告会	静岡市商業労政課	川村
12/19	モアいずみ塾 地域でネットワーク	一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団	松下
12/21	両河内まちづくり講座 女性の住みやすい地域づくり	両河内生涯学習交流館	松下
1/18～2/10	地域における男女共同参画推進のための事業企画研修	国立女性教育会館	松下

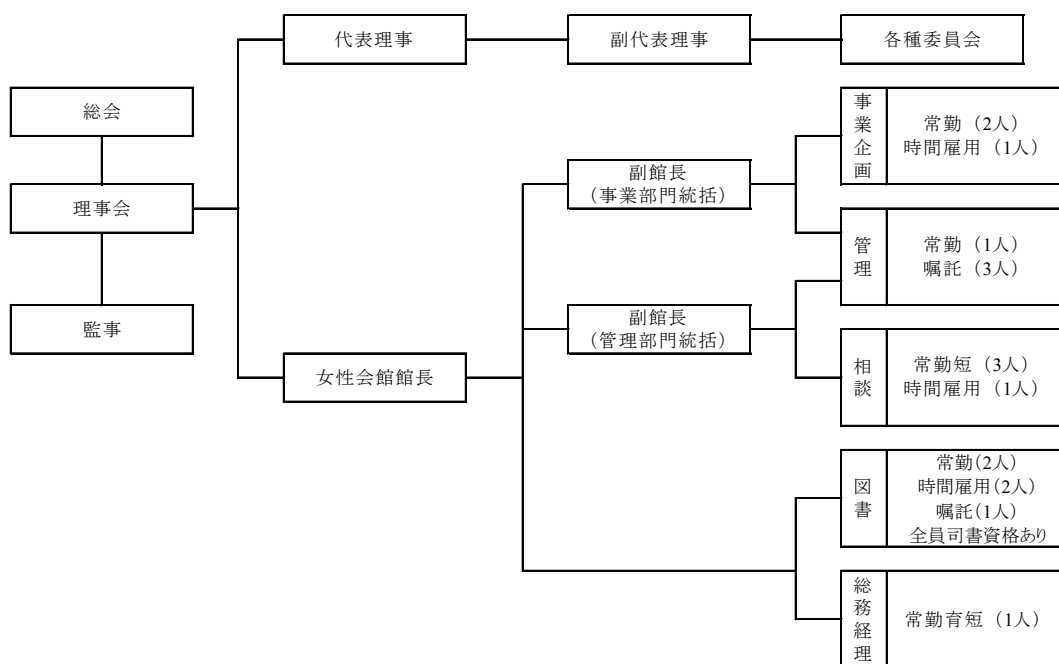
VI. 組織部門

1. 会員

2021年度の正会員は19人、賛助会員は10人。

2. 役員及び職員

2022年5月末に現役員の任期が満了となるため、年度末に各理事に重任の可否の確認を行った。世代交代を念頭に新理事候補も探すよう努めた。



常勤...週40時間 常勤短...週32時間

3. 総会

新型コロナウイルス感染は収束しないため、事前に会員に資料を送付し、Zoom または書面で総会を実施した。

開催日時	名称	正会員数	出席者数	書面評決書提出	委任状提出
5/29 10:00~11:30	第17期通常総会	19人	8人	10人	1人

4. 理事会

回	開催日	主な審議事項案	参加理事人数	参加監事人数
第1回	5/16	2020年度の事業報告案について ②2020年度の決算報告案について ③2021年度の事業計画案について ④2021年度予算計画案について	8人 ※意見提出 1人	1人
第2回	7/29	①指定管理4期目の提案について ②今後の組織のあり方について ③その他	8人	1人
第3回	11/1	①指定管理4期目の提案について ②今後の組織のあり方と予算配分について ③静岡版ジェンダー統計作成について ④その他	7人	2人
第4回	3/4	指定管理事業 2022年度の事業計画（開館30周年記念事業）について 就業規則の見直しについて 駐車場の契約について ④葵生涯学習センターとの契約について NPO事業 2022年度の事業計画について 今後の組織運営について その他	8人	1人

(成果)

- ・2021年度も理事会はウェブ会議とした。4回の理事会を実施し、同一労働同一賃金の義務化への対応及び就業規則の変更についても検討し、見直すことができた。
- ・女性会館の第4期指定管理者応募について検討するための理事6人による「戦略会議」を設けた。重点目標と具体的な提案を検討し、プロポーザルに向け工程管理を行うなど、6月17日、7月8日、7月15日、8月19日、9月1日、11月11日の6回にわたり会議を実施した。11月30日の審査会に提出する書類やプロポーザルのために作成されたパワーポイントを「戦略会議」で検討し、修正した上で審査会に臨むことができた。年度末には第4期指定管理者の内定を得ることができた。

(課題)

- ・ウェブでの理事会で時間内では十分話し合えず持ち越すものも多かった。
- ・コロナ対応により参加型、集合型の事業の実施は難しく、会員を増やすためのNPO事業については2021年度も計画することができなかった。